

教育学専攻 カリキュラム・ポリシー

教育学専攻は、人間発達や人間形成に関する科学的知識及び研究能力を備えた高度な教育的実践力をもった教員を養成することを目的としている。この目的に基づき、多様な教育課題に応え、地域の発展に寄与する教育研究を行うための教育課程を編成し、高度な研究指導を行う。

【教育内容】

学校教育コースは、「現代教育論」「課題研究」を必修科目とし、教育学及び心理学を基盤に教育相談・生徒指導・学校経営を中心とした授業科目で構成されている。

授業実践コースは、「現代教育論」「カリキュラム開発論」「課題研究」を必修科目とし、授業現場に密着し、各教科に対応した「教科内容基礎論」「教材開発演習」を設けている。

また、両コースにおいては、学校における実践的な教育課題をテーマとして、実地的な方法（調査・観察・参与など）によって研究を行う「教育実践研究」または長期にわたる臨床実践によって研究を行う「長期インターンシップ」を必修科目としている。

指導教員による研究指導の下、「教育実践研究」または「長期インターンシップ」及び「課題研究」を経て、修士論文に取り組む。

【教育方法】

（科目履修）

実践性と学問性の融合を図り、複雑で多岐にわたる教育の諸課題に対応できる高度な能力を有する教員を養成するため、ゼミナール形式の授業を行う。

（研究指導）

修士論文作成のため、入学時から主指導教員と副指導教員の2名による共同研究指導を実施する。

【教育評価】

（学修評価）

学修の評価にあたっては、本学が定める成績評価基準に基づいて評価を行う。各科目の学修成果は、授業科目の到達目標の達成度をシラバスに記載されている評価方法によって、筆記試験、レポート、発表、授業への参加度、演習・実験成果等で評価を行う。

修士論文の評価については、本専攻の論文審査規定に基づいて評価を行う。学位の授与にあたっては、学位授与の方針に基づき、論文審査（課題設定、先行研究の検討、適切な研究方法、独創性、研究倫理の履行等の観点からの評価）、関連科目の到達度評価、最終試験（筆記あるいは口述）により総合的に評価する。

（カリキュラム評価）

学生の学修成果や専門領域の研究動向、学外からの評価、意見を参照しつつ、カリキュラム評価を実施し、改善を行う。